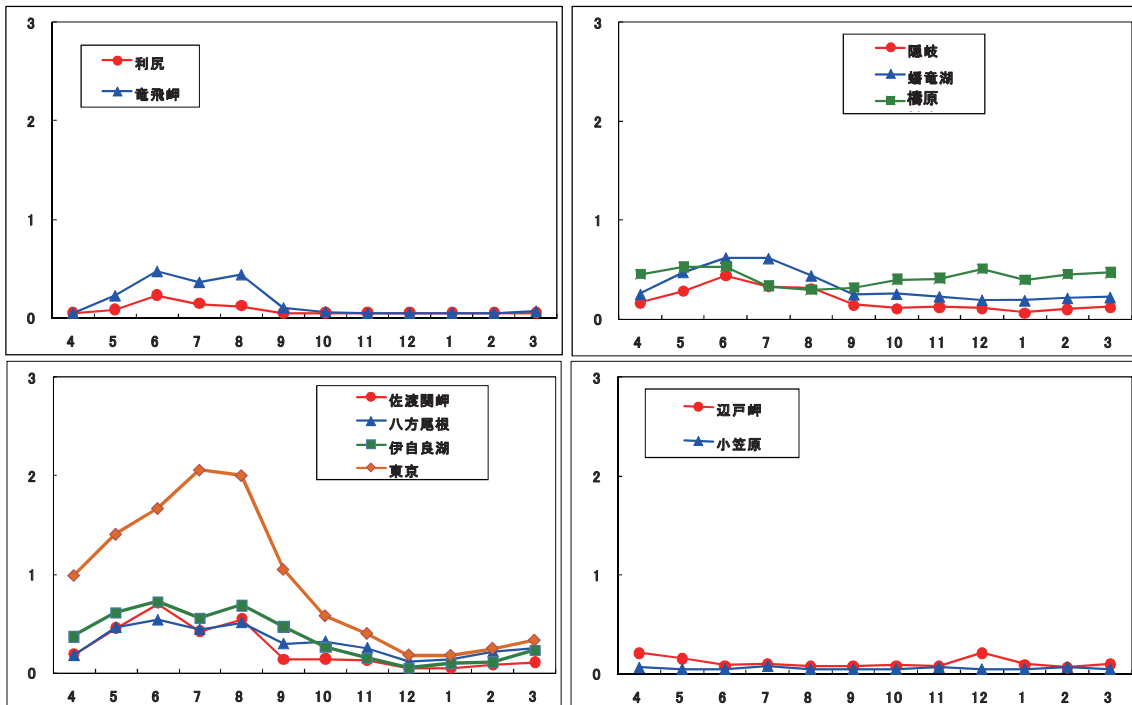
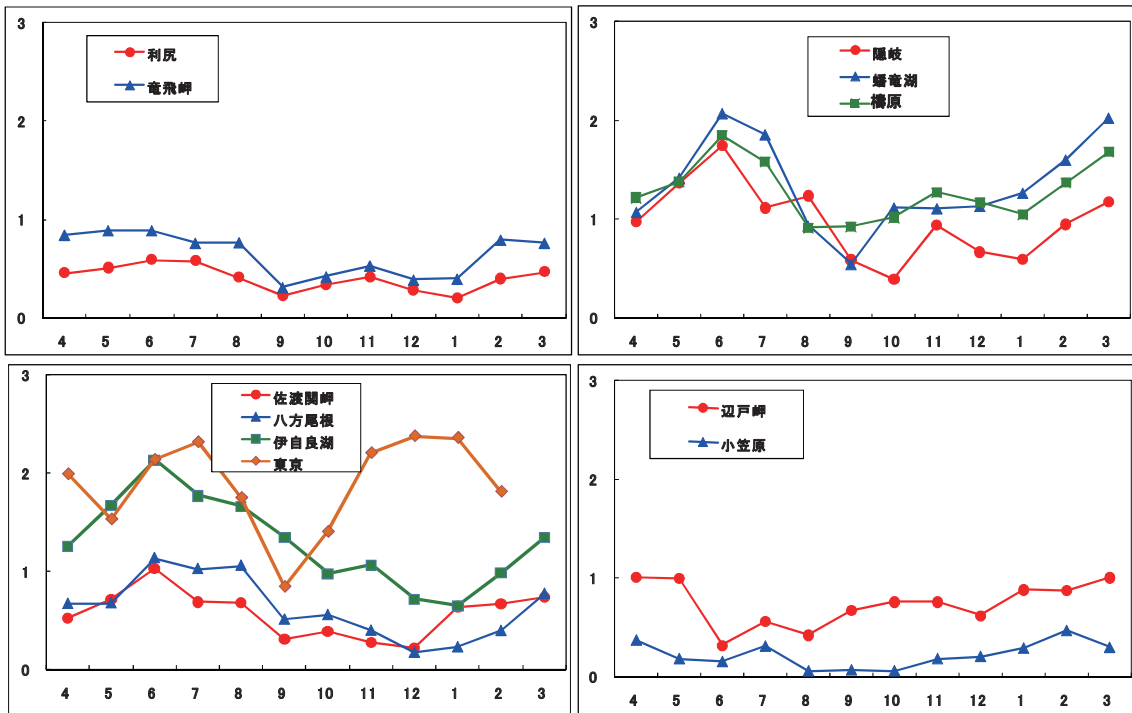


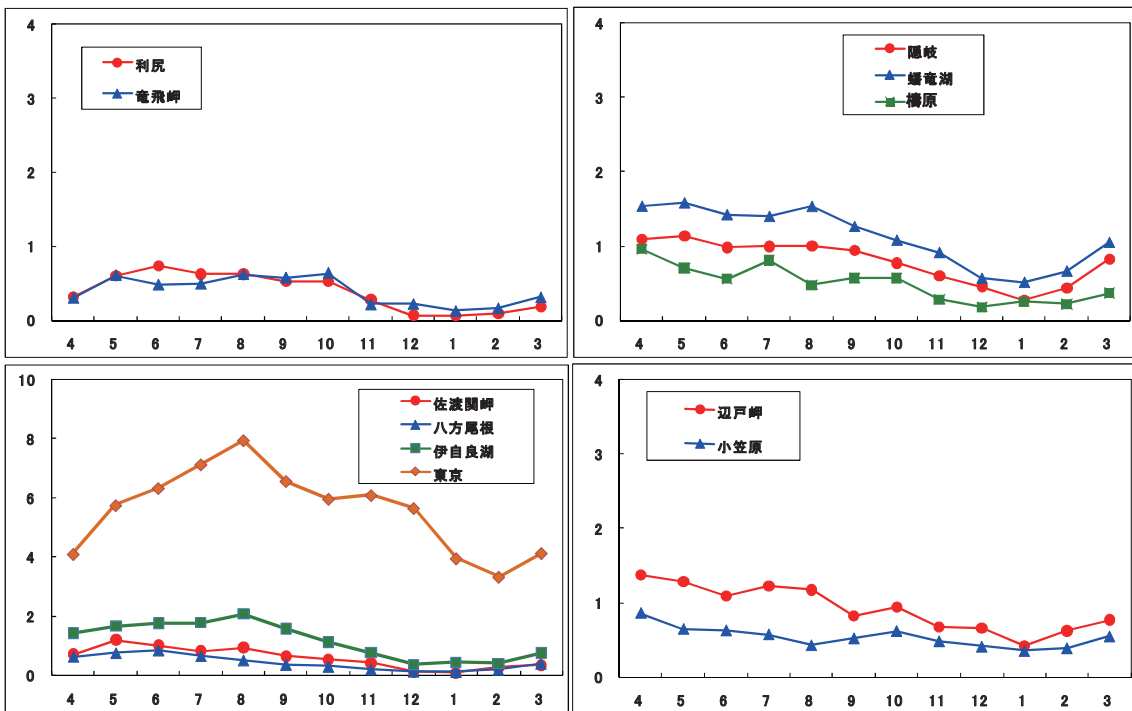
参考図 26 NO₃⁻ 濃度の季節変動 (平成 15~19 年度平均値、単位:μg m⁻³)



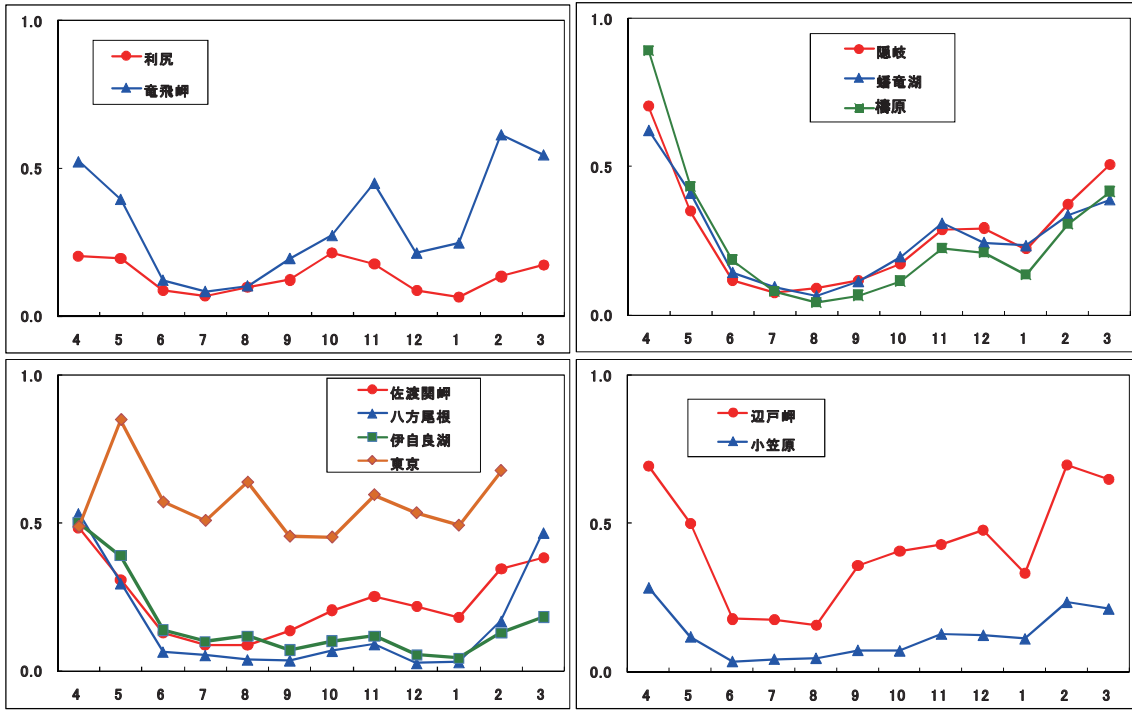
参考図 27 HNO₃ 濃度の季節変動 (平成 15~19 年度平均値、単位:ppb)



参考図 28 NH_4^+ 濃度の季節変動 (平成 15~19 年度平均値、単位: $\mu\text{g m}^{-3}$)



参考図 29 NH_3 濃度の季節変動 (平成 15~19 年度平均値、単位:ppb)



参考図 30 Ca^{2+} 濃度の季節変動 (平成 15~19 年度平均値、単位: $\mu\text{g m}^{-3}$)

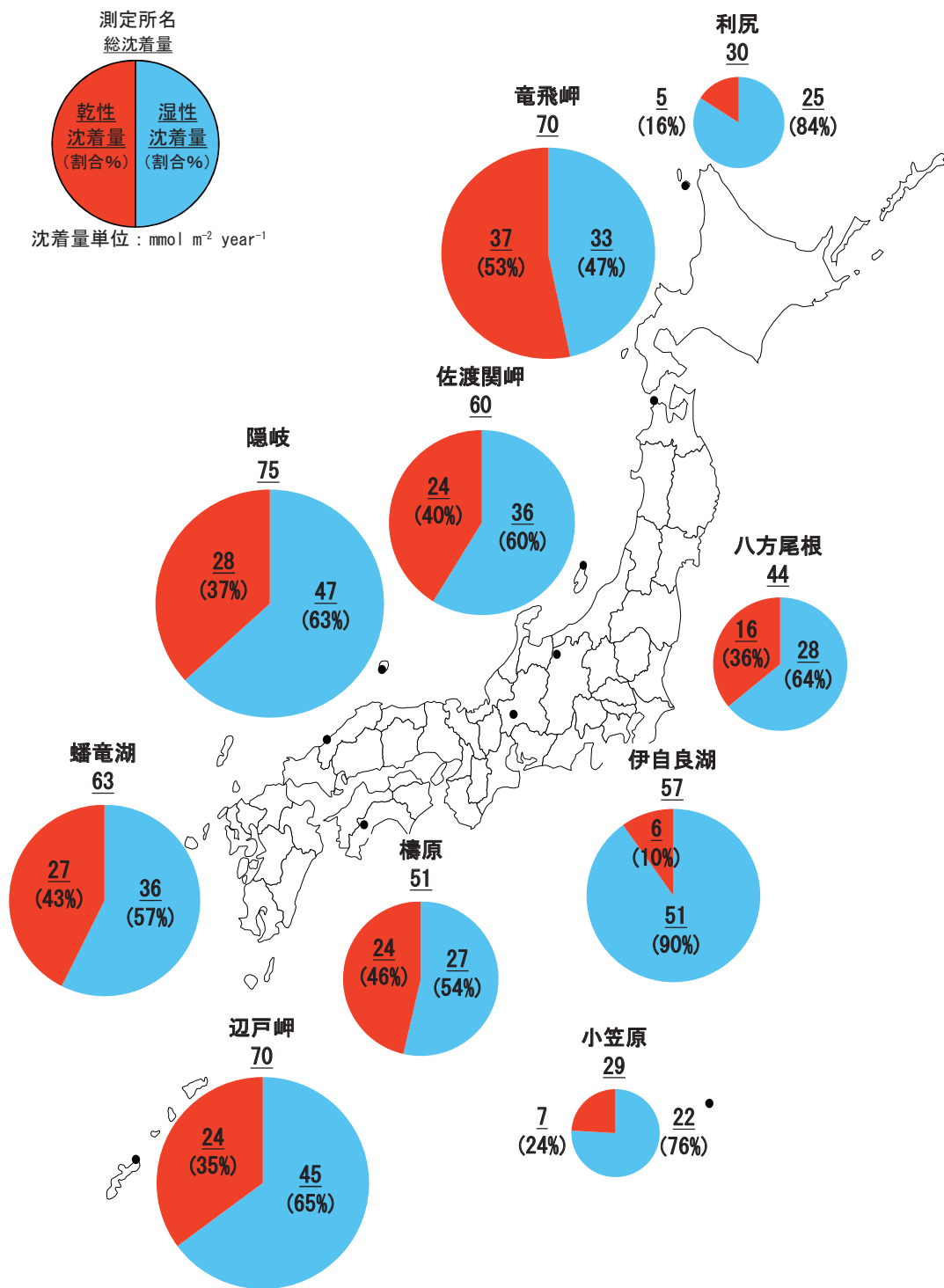
参考表 23 乾性沈着量（測定所周辺の土地利用割合で重み付けをしたもの）

地点名	年度	ガス状物質 (mmol m ⁻² year ⁻¹)			粒子状物質 (mmol m ⁻² year ⁻¹)			
		SO ₂	HNO ₃	NH ₃	SO ₄ ²⁻	nss-SO ₄ ²⁻	NO ₃ ⁻	NH ₄ ⁺
利尻	平成15年度	2.5	2.8	3.0	2.3	1.9	1.0	2.1
	平成16年度	2.4	2.0	3.3	2.2	1.6	1.0	1.5
	平成17年度	2.4	2.7	3.0	2.6	2.1	1.0	2.2
	平成18年度	2.6	1.9	2.7	2.1	1.7	0.9	1.8
	平成19年度	**	**	**	**	**	**	**
竜飛岬	平成15年度	14.3	16.7	4.9	18.0	11.0	9.5	15.7
	平成16年度	15.0	18.2	4.9	21.6	14.7	11.4	15.8
	平成17年度	12.5	18.9	**	27.4	17.8	13.6	20.8
	平成18年度	14.9	14.4	2.7	24.5	15.7	13.2	18.6
	平成19年度	13.7	17.8	3.9	25.2	18.8	15.0	19.2
小笠原	平成15年度	5.6	1.4	1.8	1.6	1.0	0.7	0.7
	平成16年度	5.9	1.6	2.9	0.5	0.3	0.2	0.3
	平成17年度	7.5	1.7	5.9	1.4	1.1	0.4	0.7
	平成18年度	**	**	**	**	**	**	**
	平成19年度	1.5	1.9	4.2	3.6	2.9	1.3	2.0
佐渡関岬	平成15年度	9.5	12.7	2.9	8.7	6.1	3.9	5.1
	平成16年度	9.3	13.5	4.3	11.4	8.8	4.6	13.2
	平成17年度	12.2	19.9	3.8	11.8	9.4	4.7	8.8
	平成18年度	15.4	16.1	3.9	10.3	7.8	4.7	7.4
	平成19年度	17.0	14.0	4.1	14.9	11.4	8.0	10.6
八方尾根	平成15年度	8.8	14.3	5.0	5.0	4.9	1.8	6.3
	平成16年度	11.5	15.3	4.1	6.3	6.2	2.2	7.5
	平成17年度	12.2	9.8	5.3	7.0	7.0	1.9	8.2
	平成18年度	8.4	15.4	4.0	5.5	5.5	0.9	6.2
	平成19年度	8.0	16.0	3.3	5.6	5.5	1.0	6.9
伊自良湖	平成15年度	3.9	4.4	8.9	1.7	1.6	0.4	3.0
	平成16年度	4.2	6.9	8.4	2.5	2.5	0.6	3.6
	平成17年度	3.4	7.4	7.8	2.6	2.5	0.5	3.9
	平成18年度	3.0	6.5	7.5	2.3	2.2	0.5	3.4
	平成19年度	2.3	5.1	5.9	2.0	2.0	0.5	2.9
隠岐	平成15年度	11.2	6.6	4.8	11.8	10.4	5.1	7.7
	平成16年度	12.0	7.8	5.6	11.2	9.6	6.2	11.6
	平成17年度	14.8	15.1	5.3	17.8	15.8	8.0	17.9
	平成18年度	14.6	14.7	4.0	17.0	15.1	8.1	18.1
	平成19年度	15.3	13.4	3.6	15.4	13.4	8.8	16.2
蟠竜湖	平成15年度	15.3	9.8	9.0	6.7	6.1	3.1	5.9
	平成16年度	17.7	15.3	11.4	9.3	8.5	4.9	11.2
	平成17年度	14.2	17.8	7.4	11.3	10.6	5.8	14.2
	平成18年度	17.7	16.2	8.8	12.4	11.5	6.2	15.3
	平成19年度	17.6	16.4	7.8	12.1	11.4	5.9	14.8
檜原	平成15年度	11.0	15.4	5.1	7.7	7.6	2.5	9.4
	平成16年度	11.0	17.5	5.0	10.8	10.6	2.0	12.2
	平成17年度	11.7	23.5	3.4	11.1	10.9	2.4	13.7
	平成18年度	16.8	21.8	4.5	10.4	10.2	2.2	13.5
	平成19年度	16.5	23.4	6.9	11.6	11.4	2.2	14.2
辺戸岬	平成15年度	13.8	5.0	4.3	10.5	7.3	7.6	7.5
	平成16年度	19.0	8.0	5.8	5.9	4.3	2.9	3.6
	平成17年度	11.3	6.4	5.2	16.0	11.7	6.5	9.9
	平成18年度	9.3	4.8	4.8	13.8	11.0	6.6	8.8
	平成19年度	8.3	6.8	6.9	14.5	11.7	6.3	11.0

** 有効データの得られた時間が調査対象時間の70%未満のため解析に用いなかった。

参考表 24 酸性沈着量 (平成 15~19 年度平均)

地点名	湿性沈着量 (mmol m ⁻² y ⁻¹)			乾性沈着量 (mmol m ⁻² y ⁻¹)			総沈着量 (mmol m ⁻² y ⁻¹)		
	Total-S	nss-S	Total-N	Total-S	nss-S	Total-N	Total-S	nss-S	Total-N
利尻	25.1	15.3	31.4	4.8	4.3	8.3	29.9	19.6	39.6
竜飛岬	32.7	16.7	40.9	37.4	29.7	50.5	70.1	46.4	91.4
小笠原	21.7	9.3	14.9	6.9	6.5	6.9	28.5	15.7	21.8
佐渡関岬	35.6	20.3	48.8	24.1	21.4	33.3	59.6	41.7	82.0
八方尾根	27.9	27.1	47.6	15.7	15.6	27.1	43.6	42.7	74.7
伊自良湖	51.1	48.1	112.7	5.6	5.5	17.7	56.7	53.6	130.4
隠岐	47.1	20.8	42.8	28.2	26.4	37.7	75.4	47.2	80.6
蟠竜湖	36.1	28.2	58.9	26.8	26.1	41.4	63.0	54.3	100.3
禰原	27.5	24.3	41.1	23.7	23.5	40.2	51.2	47.8	81.3
辺戸岬	45.2	17.1	33.9	24.5	21.5	25.7	69.7	38.6	59.6



参考図 31 全硫黄の年間沈着量 (平成 15～平成 19 年度平均)

4. 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）の概要

（1）EANET 発足の背景

- 東アジア地域における近年のめざましい経済成長等に起因して、酸性雨の原因となる大気汚染物質の排出量が増加しており、今後もさらなる増加が予測されていることから、近い将来、酸性雨による影響が深刻なものとなることが懸念。
- このため、東アジア地域における酸性雨の現状やその影響解明に向け、地域協力体制の確立を目的として、2001年1月から EANET が本格稼働を開始。
- EANET は、これまで財政面・技術面ともに日本が主体となって進めてきた取組であり、我が国としては EANET 活動の基盤確立や将来的な発展・拡大により、大気環境管理に向けた当該地域の国際協力が推進されることを重要視。

（2）EANET の概要

ア. 参加国

カンボジア（2001年から）、中国、インドネシア、日本、ラオス（2002年から）、マレーシア、モンゴル、ミャンマー（2005年から）フィリピン、韓国、ロシア、タイ、ベトナムの計13カ国

イ. 活動目的

- 東アジア地域における酸性雨問題の状況に関する共通理解の形成促進
- 酸性雨防止対策に向けた政策決定に当たっての基礎情報の提供
- 東アジア地域における酸性雨問題に関する国際協力の推進

ウ. 活動の概要

- 共通の手法を用いた酸性雨モニタリングの実施
- データの収集、評価、保管及び提供
- 精度保証・精度管理（QA/QC）活動の推進
- 参加国への技術支援と研修プログラムの実施
- 酸性雨に関連した調査研究活動の推進
- 普及啓発活動の推進
- 関係国際機関との情報交換

エ. 実施体制

UNEP アジア太平洋地域資源センター(RRC. AP) (タイ) が EANET 事務局、財団法人日本環境衛生センター酸性雨研究センター（新潟市内）が技術的対応を行うネットワークセンターに指定されている。